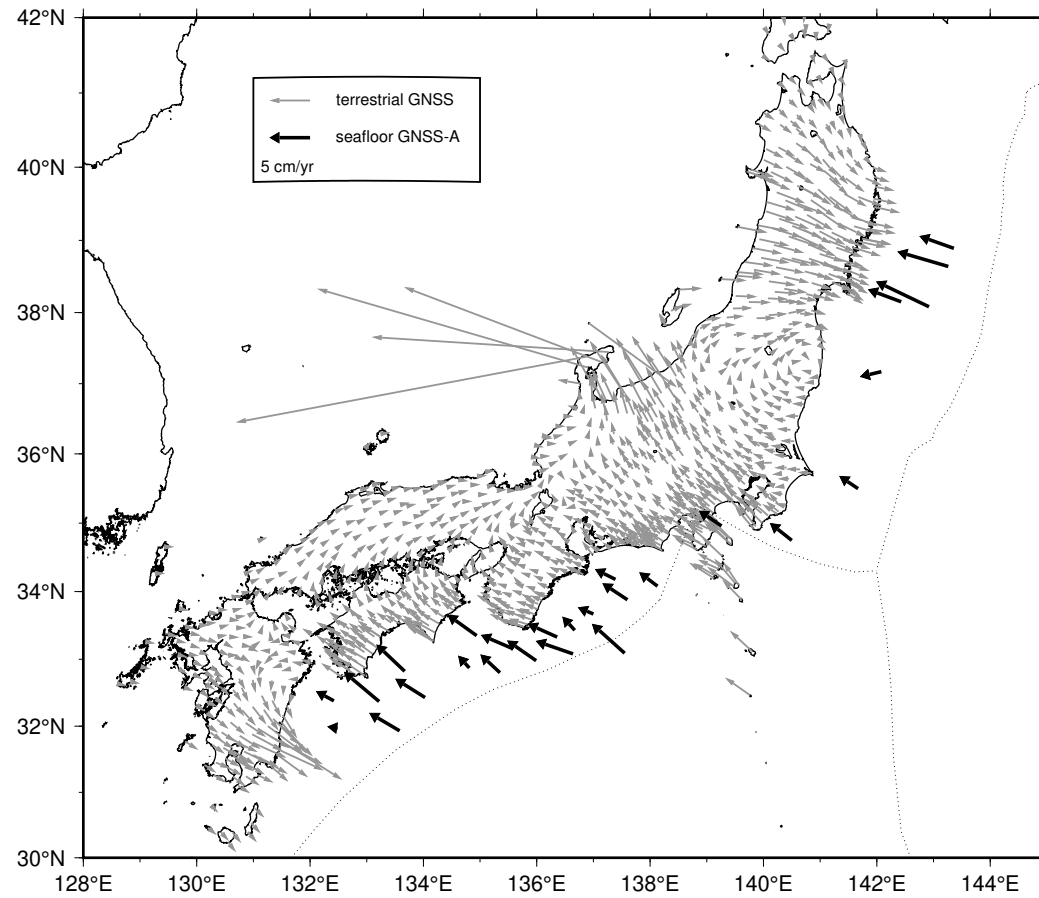


第 251 回地震予知連絡会資料

令和 8 年 5 月 21 日



直近約4年間の水平移動速度【ユーラシアプレート固定】

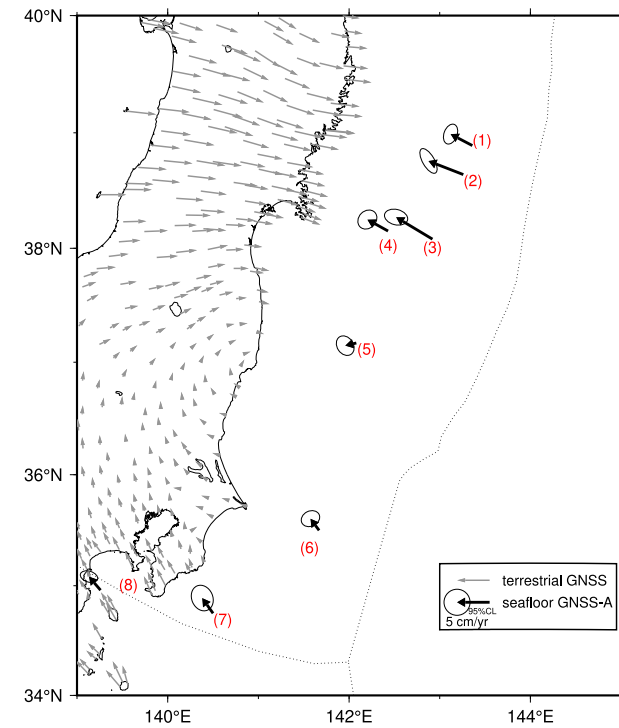


陸域の速度場は国土地理院 GEONET F5 解の 03/10/2022 - 03/10/2026 の期間

日本海溝沿いの直近約4年間の水平移動速度【北米プレート固定】

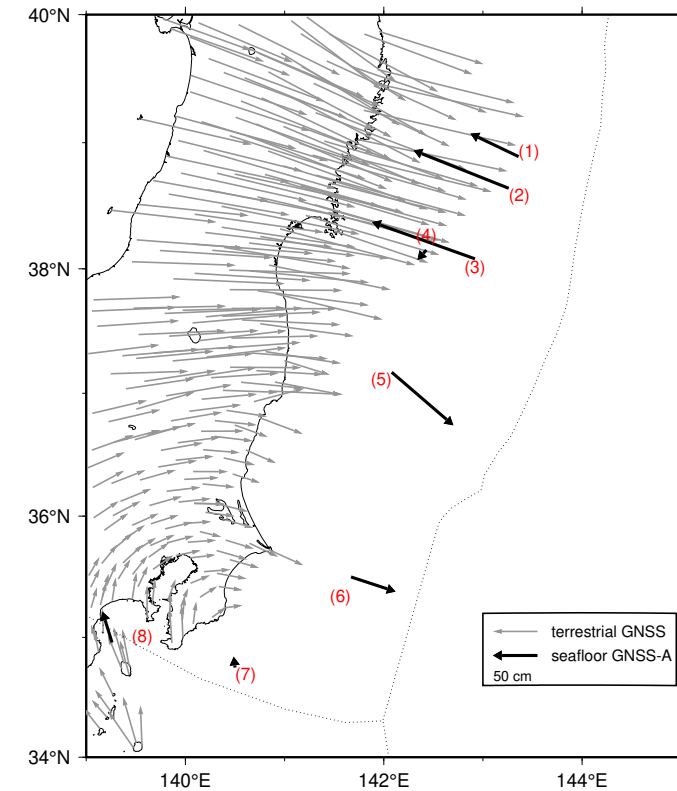
資料14-1

Site name	Lat. (°N)	Lon. (°E)	Velocity (cm/yr) (deg)		Period	Data	Update
(1) KAMN	38.89	143.36	3.8	297.8	05/03/2022 - 12/09/2025	12	
(2) KAMS	38.64	143.26	5.7	291.3	05/03/2022 - 12/09/2025	13	
(3) MYGI	38.08	142.92	6.5	301.1	05/05/2022 - 03/10/2026	13	*
(4) MYGW	38.15	142.43	3.6	299.1	05/05/2022 - 03/10/2026	13	*
(5) FUKU	37.17	142.08	1.8	256.4	05/06/2022 - 03/09/2026	13	*
(6) CHOS	35.50	141.67	2.2	323.7	05/06/2022 - 11/22/2025	14	
(7) BOSN	34.75	140.50	2.9	324.7	03/07/2022 - 03/08/2026	15	*
(8) SAGA	34.96	139.26	2.7	319.5	05/16/2022 - 03/08/2026	15	*
GEONET					03/10/2022 - 03/10/2026		



東北地方太平洋沖地震後の日本海溝沿いの累積水平移動量【北米プレート固定】

Site name	Lat. (°N)	Lon. (°E)	Movement (cm) (deg)	Period (UTC)	Update
(1) KAMN	38.89	143.36	60.1 295.7	04/03/2011 - 12/09/2025	
(2) KAMS	38.64	143.26	115.1 291.8	04/04/2011 - 12/09/2025	
(3) MYGI	38.08	142.92	122.9 289.8	03/28/2011 - 03/10/2026	*
(4) MYGW	38.15	142.43	15.2 222.0	03/27/2011 - 03/10/2026	*
(5) FUKU	37.17	142.08	91.5 130.8	03/29/2011 - 03/09/2026	*
(6) CHOS	35.50	141.67	52.7 108.2	04/17/2011 - 11/22/2025	
(7) BOSN	34.75	140.50	12.5 353.4	04/18/2011 - 03/08/2026	*
(8) SAGA	34.96	139.26	36.0 342.9	05/07/2011 - 03/08/2026	*
GEONET				04/01/2011 - 03/07/2026	

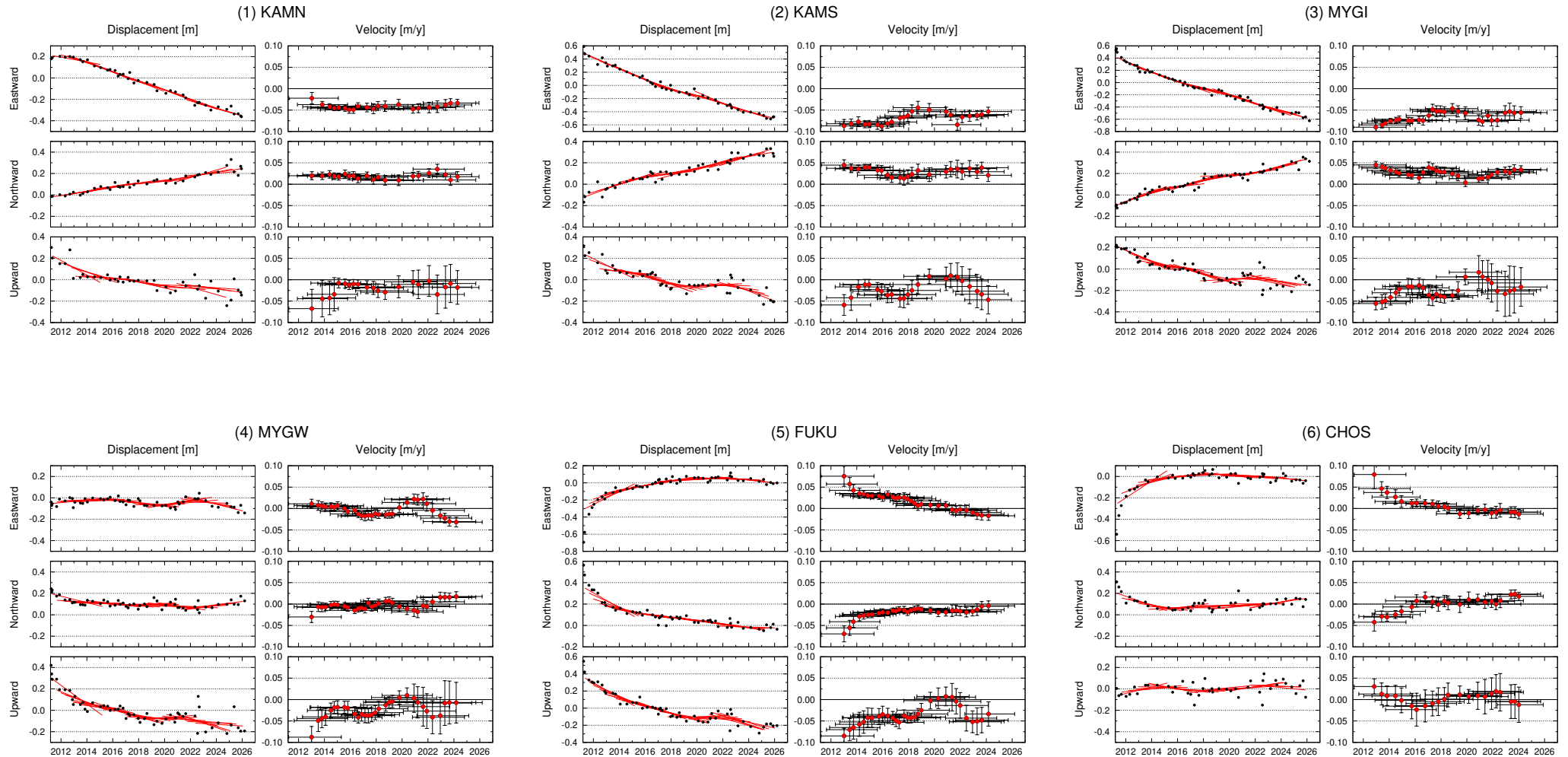


GNSS-A 観測時系列【北米プレート固定】

各図の左列は、測位解・赤線は 4.1 年の時間窓による測位解の回帰直線

各図の右列は、4.1 年の時間窓による回帰直線から求めた変動速度

縦のバーは速度推定の 95% 信頼区間、横のバーは速度推定のデータ期間

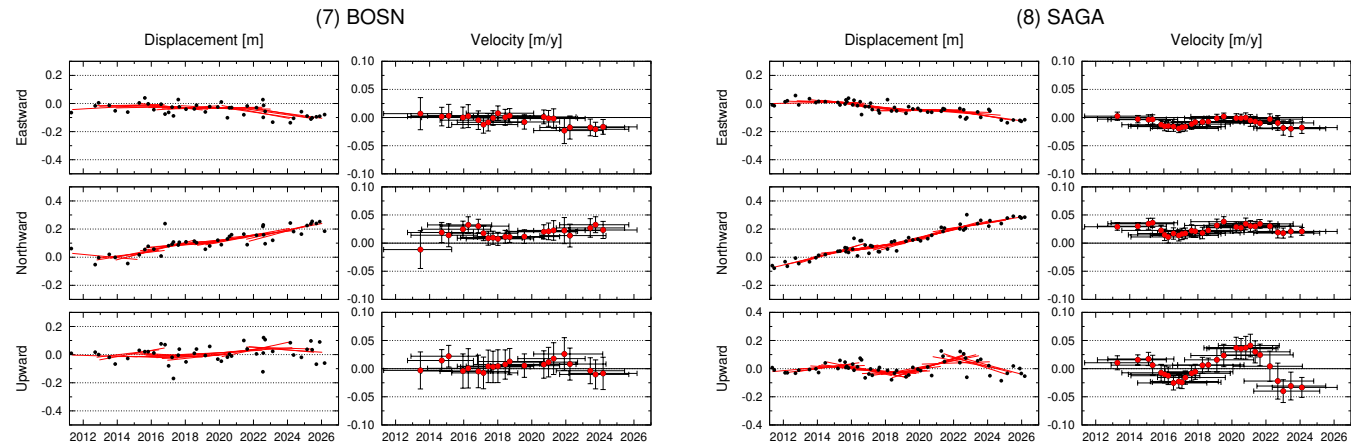


GNSS-A 観測時系列【北米プレート固定】

各図の左列は、測位解．赤線は 4.1 年の時間窓による測位解の回帰直線

各図の右列は、4.1 年の時間窓による回帰直線から求めた変動速度

縦のバーは速度推定の 95% 信頼区間，横のバーは速度推定のデータ期間



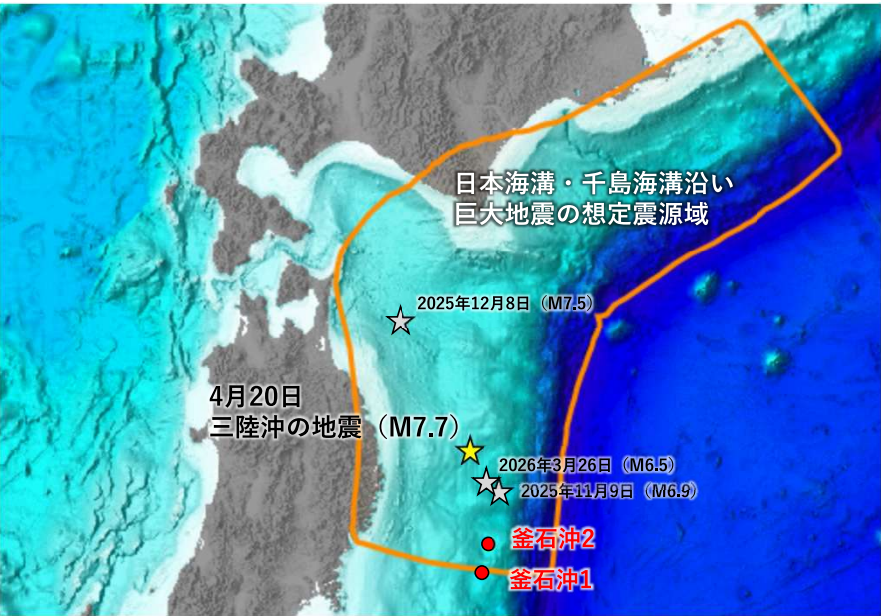
三陸沖の地震（2026年4月20日， M_{JMA} 7.7）に伴う臨時海底地殻変動観測結果 2026年 5月11日時点

【観測概要】

観測点：釜石沖1（KAMS），釜石沖2（KAMN）
観測日：2026年4月24日～25日
使用船舶：測量船「昭洋」
GNSS解析：IGS最終暦を使用

【観測点概要】

観測点	北緯[度]	東経[度]	震央からの距離
釜石沖1（KAMS）	38.64	143.26	約 130 km
釜石沖2（KAMN）	38.89	143.36	約 100 km



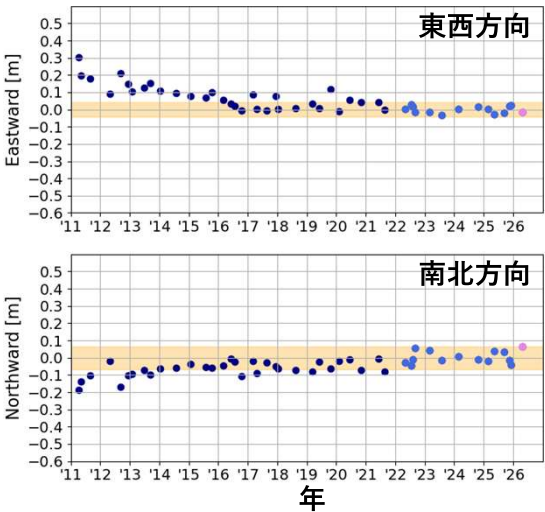
※海洋状況表示システム（<https://www.msil.go.jp>）をもとに作成

【観測結果】

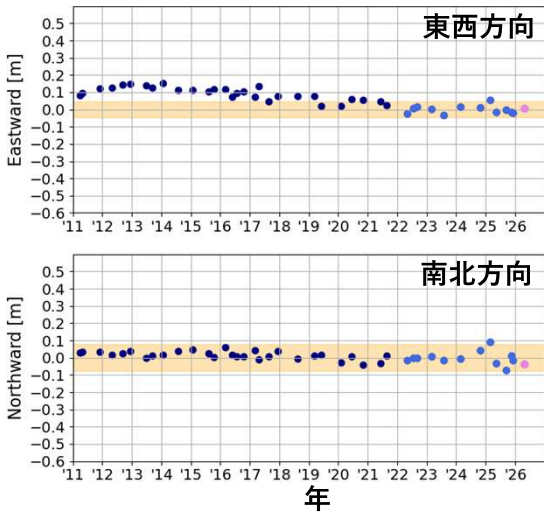
地震発生前後で有意な地殻変動は検出されなかった。

【観測点時系列】

釜石沖1（KAMS）



釜石沖2（KAMN）



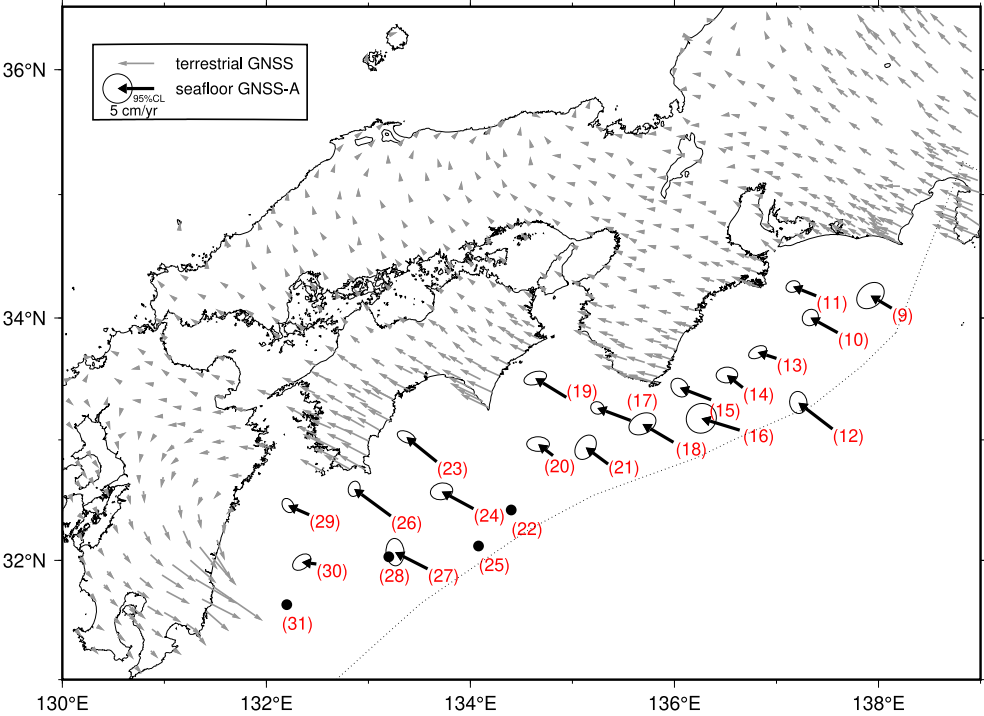
各観測点の位置の時系列（トレンド除去）

- 右端の赤点が今回の観測結果を示す。
- 地震前の4年間の位置（薄青点）から算出したトレンドを除去している。
- 橙色の範囲は上記区間におけるトレンドからのばらつきの範囲（ 2σ ）を示す。

南海トラフ沿いの直近約4年間の水平移動速度【アムールプレート固定】

資料14-2

Site name	Lat. (°N)	Lon. (°E)	Velocity (cm/yr) (deg)		Period (UTC)	Data	Update
(9) TOK1	34.08	138.13	3.4	300.8	05/15/2022 - 02/27/2026	16	*
(10) TOK2	33.88	137.60	4.3	298.9	05/12/2022 - 03/01/2026	14	*
(11) TOK3	34.18	137.39	3.4	291.9	03/04/2022 - 03/01/2026	20	*
(12) ZENW	33.09	137.55	5.9	307.7	03/04/2022 - 09/13/2025	10	
(13) KUM1	33.67	137.00	2.7	288.2	02/24/2022 - 03/01/2026	17	*
(14) KUM2	33.43	136.67	2.8	308.3	02/24/2022 - 01/22/2026	15	*
(15) KUM3	33.33	136.36	4.6	291.1	02/24/2022 - 02/28/2026	16	*
(16) KUM4	33.08	136.64	5.5	287.1	03/03/2022 - 01/22/2026	15	*
(17) SLOW	33.16	135.57	4.9	290.6	01/15/2022 - 01/17/2026	15	*
(18) SIO2	32.98	135.99	4.9	300.7	09/14/2021 - 09/07/2025	15	
(19) MRT1	33.35	134.94	5.0	301.7	01/16/2022 - 01/18/2026	15	*
(20) MRT2	32.87	134.81	2.6	307.6	09/15/2021 - 09/06/2025	16	
(21) MRT3	32.80	135.35	3.8	306.7	09/15/2021 - 08/26/2025	15	
(22) MRT4	32.42	134.40	-	-	12/17/2025 - 12/17/2025	1	
(23) TOS1	32.82	133.67	5.3	309.1	11/15/2021 - 12/13/2025	16	
(24) TOS2	32.43	134.03	4.9	298.5	02/26/2022 - 01/16/2026	17	*
(25) TOS3	32.12	134.08	-	-	12/17/2025 - 12/17/2025	1	
(26) ASZ1	32.37	133.22	6.2	306.5	01/20/2022 - 12/12/2025	16	
(27) ASZ2	31.93	133.58	5.0	297.1	01/21/2022 - 01/15/2026	17	*
(28) ASZ3	32.03	133.20	-	-	12/16/2025 - 12/16/2025	1	
(29) HYG1	32.38	132.42	3.2	293.6	11/14/2021 - 12/14/2025	16	
(30) HYG2	31.97	132.49	2.0	277.1	11/14/2021 - 12/15/2025	18	
(31) HYG3	31.63	132.20	-	-	12/15/2025 - 12/15/2025	1	
GEONET					03/01/2022 - 03/01/2026		



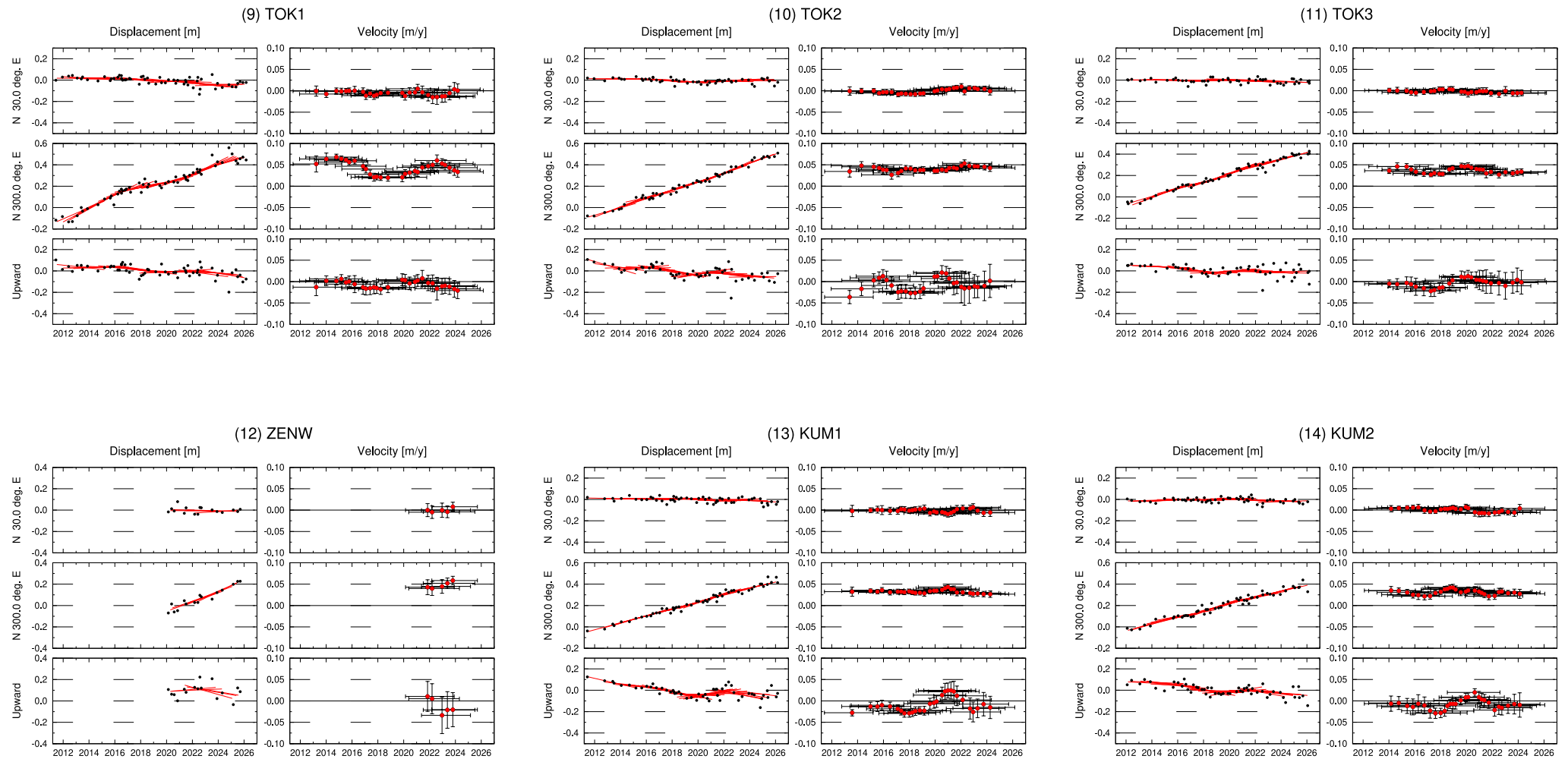
GNSS-A 観測時系列【アムールプレート固定】

※各図の左列は, 測位解. 赤線は 4.1 年の時間窓による測位解の回帰直線

※各図の右列は, 4.1 年の時間窓による回帰直線から求めた変動速度

縦のバーは速度推定の 95% 信頼区間, 横のバーは速度推定のデータ期間

水平成分の座標軸は北から時計回りに 300° 回転



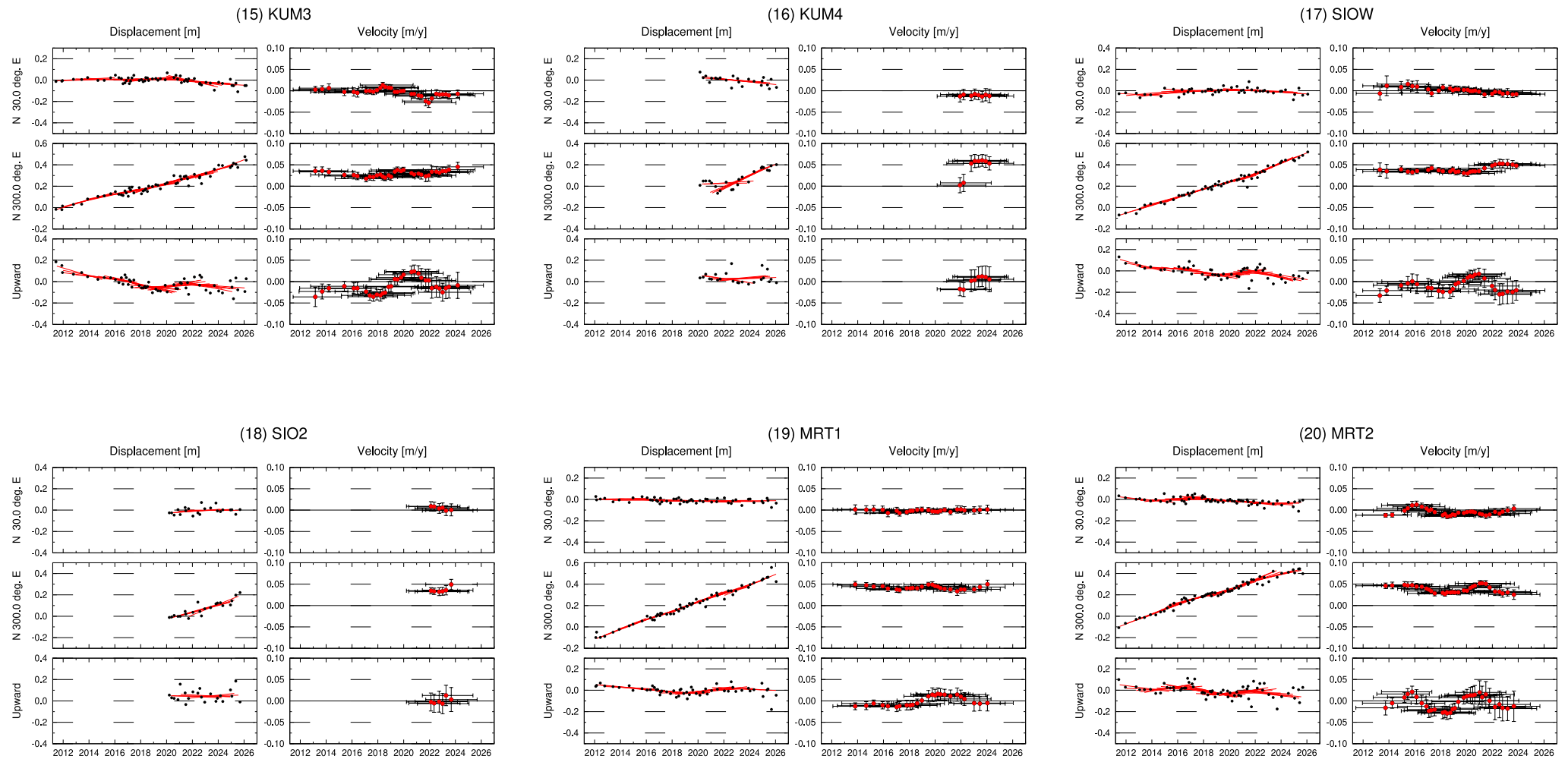
GNSS-A 観測時系列【アムールプレート固定】

※各図の左列は, 測位解. 赤線は 4.1 年の時間窓による測位解の回帰直線

※各図の右列は, 4.1 年の時間窓による回帰直線から求めた変動速度

縦のバーは速度推定の 95% 信頼区間, 横のバーは速度推定のデータ期間

水平成分の座標軸は北から時計回りに 300° 回転



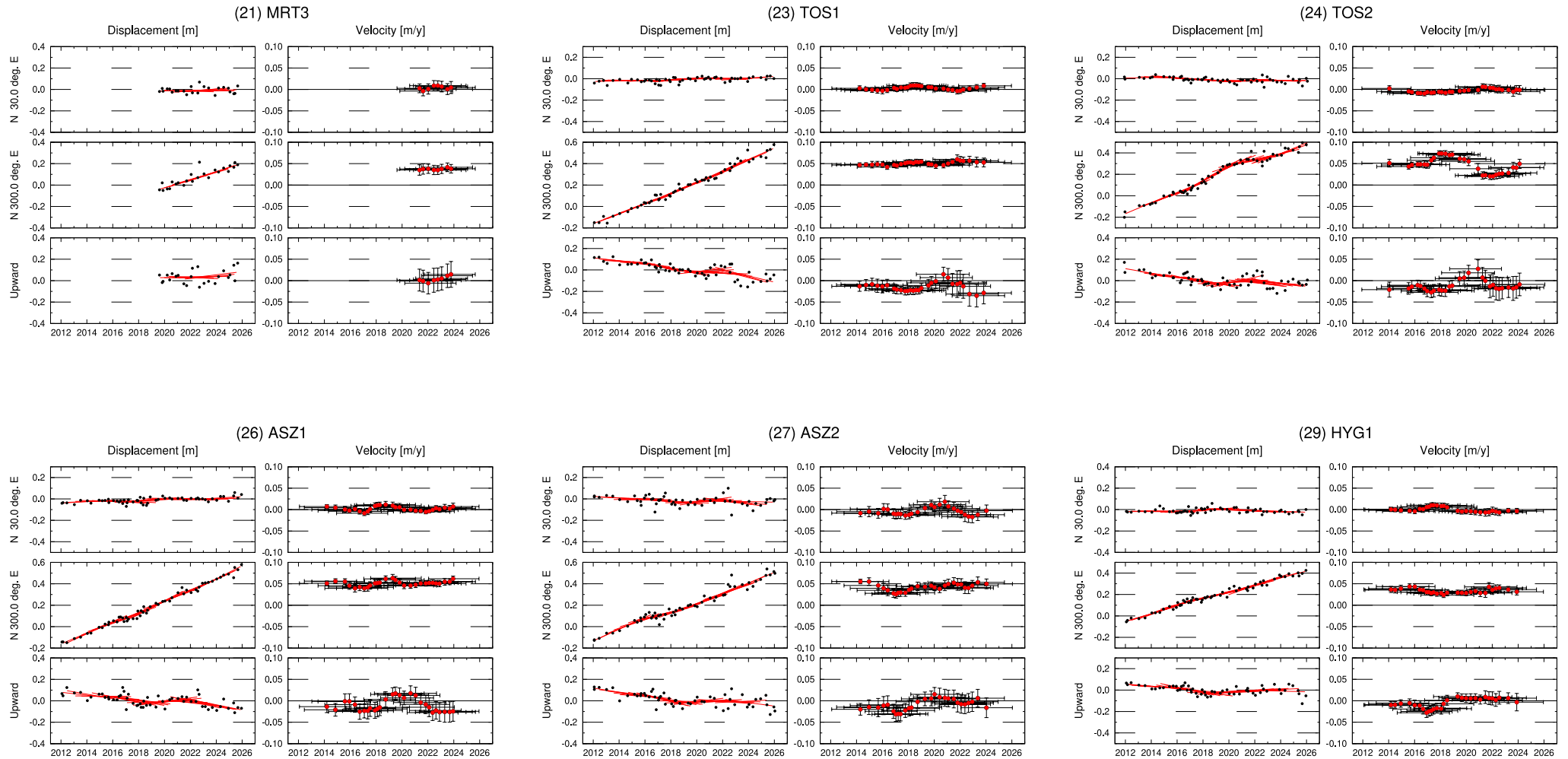
GNSS-A 観測時系列【アムールプレート固定】

※各図の左列は, 測位解. 赤線は 4.1 年の時間窓による測位解の回帰直線

※各図の右列は, 4.1 年の時間窓による回帰直線から求めた変動速度

縦のバーは速度推定の 95% 信頼区間, 横のバーは速度推定のデータ期間

水平成分の座標軸は北から時計回りに 300° 回転



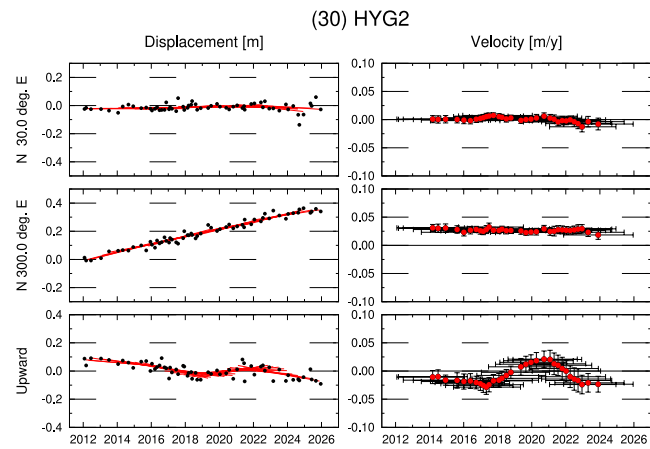
GNSS-A 観測時系列【アムールプレート固定】

※各図の左列は, 測位解. 赤線は 4.1 年の時間窓による測位解の回帰直線

※各図の右列は, 4.1 年の時間窓による回帰直線から求めた変動速度

縦のバーは速度推定の 95% 信頼区間, 横のバーは速度推定のデータ期間

水平成分の座標軸は北から時計回りに 300° 回転



宮古島近海の海底地形について

2026 年 3 月 10 日
海上保安庁

宮古島近海で令和 8 年 2 月下旬から発生している群発地震の震源域周辺の海底地形について、海上保安庁が保有する海底地形データをもとに特徴を述べる。

群発地震が発生している場所は、沖縄トラフ南部の八重山海底地溝の東端付近にあたる。八重山海底地溝は東－西 又は東北東－西南西の走 向の正断層が発達 する活動的なリフト（八重山リフト）で、水深は約 2200m を超える。各機関から報告されている発震メカニズム解と断層の走向は概ね調和的である。また、震源が集中する南端付近には伊良部海丘と呼ばれる海底火山が存在する。

（参考）

● 断層地形

当該海域には主に 2 つの走向を有する断層が報告されている（活断層研究会, 1991）。① 東－西又は東北東－西南西、②北北西－南南東又は北西－南東である。①東－西又は東北東－西南西のリニアメントは、宮古島沖の沖縄トラフ内に分布しており、沖縄トラフのリフティングに伴って形成された断層であると考えられる。一方で、②北北西－南南東又は北西－南東のリニアメントは宮古島やその周辺海域に分布しており、リフティングに伴い琉球弧がストレッチすることによって、弧を横断する方向に形成されたと考えられる（Fabbri and Fournier, 1999）。

● 海底火山

伊良部海丘では玄武岩～玄武岩質安山岩が採取されている（Fujii et al., 2018）。また、熱水活動も確認されている（松本ほか, 2001）。

（参考文献）

活断層研究会, 1991. 新編日本の活断層 -分布図と資料. 東京大学出版, 437 pp.

Fabbri and Fournier, 1999. Extension in the southern Ryukyu arc (Japan): Link with oblique subduction and back arc rifting. *Tectonics* 18, 486–497.

Fujii et al., 2018. Seafloor hydrothermal alteration affecting magnetic properties of abyssal basaltic rocks: insights from back-arc lavas of the Okinawa Trough. *Earth, Planets and Space* 70, 1–14.

松本ほか, 2001. 沖縄トラフ西端部における火山・熱水活動と中軸の「セグメント化」－「よこすか」・「しんかい 6500」による"Lequios" 航海成果速報－, JAMSTEC 深海研究 第 19 号, 95–107.

地震予知連絡会委員限り

宮古島近海の海底地形図。上段の赤丸は気象庁一元化震源（2026年2月26日～3月7日）

